



新学年になって初めての定期考査が終了し、その結果にそれぞれが一喜一憂していること  
と思います。そんなあなたの今の気分にピッタリな本を見つけてみませんか？  
「毎日が楽しくて仕方ない！」「ちょっと疲れたな」「悩んでるんだけど……」  
ハネールでは、あなたの本選びのお手伝いができたらなと思っています。  
これ読んでみようかな、その気持ちで出会った本が  
あなたの何かを変えるかもしれません。



## いい言葉はいい人生をつくる 斎藤茂太

「知恵ある言葉」をたくさん胸に刻もう。  
これは裏表紙に書かれている言葉だ。この本には、その知恵のある言葉がたくさん紹介されている。しかも、言葉のジャンルによって章分けされ、一つの言葉に小見出しがついているので、今の自分に合った言葉を探することができる。例えば、「人間関係」人にほめられる人よりも、人をほめられる人が賢者といった感じだ。

この本を読むと、沢山の知恵のある言葉を知ることができるから、人生をプラスの方向に向けることができます。この本を紹介している私もそうでした。私の中で特に印象的だった言葉は、「表面をつくるということは、内部を改良する一種の方法である。」—夏目漱石 だ。著者はイライラするときも、辛いときも笑顔でいることを意識しているそうだ。笑顔でいると、怒りがすーっとなくなるという。私も試しに勉強がうまくいかない時に笑顔を作った。嘘のようだが少し気分が落ち着いたので効果があるようである。

私は、1日1個この本の内容を読むといいのではないかと考えています。それだけで気分が明るくなるのですから。

推薦者 2年田原



## 世界から猫が消えたなら 川村元気

2016年に映画化された作品。  
余命宣告された主人公が世の中から1つ何かを消すことで命を得ていく物語。主人公と共に人生を振り返り、読み終わった後は心が温くなる作品です。

推薦者 3年伊勢田



## NO CALL NO LIFE 壁井ユカコ

心が擦り切れそうな恋をした\_\_\_\_。  
「サンタさんをお願い。クリスマスにおかあさんを届けて。」携帯電話に残された見知らぬ男の子からの留守メッセージ。高校1年の夏、佐倉有海は奇妙な過去からの間違い電話に引き寄せられて、学校一の問題児・春川と出会った。17歳と19歳、心に同じ欠落を抱えた2人は互いの傷を埋めるように惹かれあうが、それはあまりにも拙く刹那的な恋で……。痛々しくて、たまらなく愛おしい、涙のラブ・ストーリー。

一見ありきたりなお話に感じるけど、作者さんの言葉の使い方、表現、キャラクターの話し方など、繊細で独特で、きっと大好きになります。読んでいるうちに、現実と少し離れた有海と春川の壊れかけた世界に引き込まれて、2人が愛しくて堪らなくなる。絶対に学生時代に読むべきだと思っておすすめで大好きな作品です。

推薦者 1年吉田



## 海の底 有川浩

春の桜祭りの日。突如現れた巨大ザリガニに占領され、行き場を無くした2人の自衛官と13人の少年少女は潜水艦に立てこもる。  
救出までの6日間、少年少女の歪んだ関係と自衛官2人の屈折した感情が混じり合う不思議な生活が始まる……

有川浩の自衛隊三部作のひとつ、家族と町と恋愛と、そこに未確認巨大生物をプラスしたスーパーエンターテインメント。このわくわく感を心から味わえ。  
推薦者 1年畔上